

早いもので、もう令和3年も最後の月になってしまいました。先日から急に寒さが増してきましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。さて、防災タイムズ第47号では、8月に行われました防災あんしん調査結果についてご紹介させていただきます。

○第18回 防災あんしん調査票 集約結果

10月に第18回防災あんしん調査票の集約を完了しました。

今回の調査票の回収率は85.1%と、前年度の87.4%に比べ2.3ポイント減少しましたが、過去9年間の平均値85%とほぼ同等でした。趣旨を理解しご協力いただきました住民の皆様には厚く御礼申し上げます。

調査票の目的は災害発生時にいち早くご近所の安否を確認し、より迅速な救命救護への活用や、救援物資・救援金の適切な配分などに使用するものですので、さらに多く回収できるよう、今後も検討を進めていきます。

なお、防災あんしん調査票は平和が丘学区独自の取り組みですが、H23年の東日本大震災以降、行政や他の学区等からも特に注目されています。

(1) 回収結果

	配布 世帯数※1	報告 世帯数	調査票 回収率	総人数※1 (報告人数合計)	一世帯あたり 平均人数	75歳以上 世帯数	要援護者 人数※2
R03年度	1,891世帯	1,609世帯	85.1%	4,133人	2.57人	500世帯(31.1%)	160人(9.9%)
R02年度	1,879世帯	1,643世帯	87.4%	4,227人	2.57人	510世帯(31.0%)	142人(8.6%)

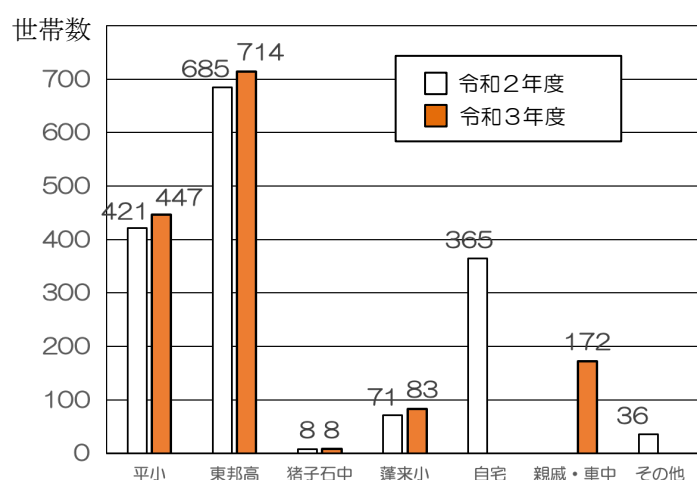
※1：調査票の配布ができない管理マンション等があるため、配布世帯数および総人数等は学区全体の正値より少なくなっています。

(※2：要援護者人数/報告世帯数)

75歳以上の高齢者がおられる世帯は学区全体で31.1%と、昨年度31.0%に対し0.1ポイント増加しており、6つの自治会で昨年度より世帯数が増加していました。

また、災害時に何らかの援護(介助)が必要な方が、昨年度より18人増加し160人となり、自主防災会やご近所同士での助け合いが一層重要になります。日頃から顔の見えるお付き合いをお願いします。

(2) 避難所への避難世帯数



○令和3年度は、自宅倒壊し住めなくなった時を前提に避難所を選択してもらったため平小と東邦が増加

○また、令和3年度は自宅避難の項目の代わりに親戚や車中を新たな避難場所項目として設定した他、その他の項目を削除しました。

○課題

- ・在宅避難中心の啓発活動に注力
- ・避難所は平小を中心にして、そのための訓練、シミュレーションを検討する。

○なお、蓬来小学校は、平和が丘学区の防災委員等係員は出向きませんので、ご注意ください。また、コミセンは要援護者用の避難所として活用することになっています。

○学童保育所ペガサスクラブの役割と活動

ペガサスクラブは平和が丘小・蓬来小の児童が通う学童保育所で、2021年度は52名が在籍しています。

学童保育所とは、「ただいま！」と帰れば「おかえり！」と迎えてくれる大人と、いつもの仲間たちがいる「放課後のおうち」です。名古屋市の助成を受け、地域と保護者が運営する児童福祉事業です。

ペガサスクラブでは、『自己肯定感をもち、自分のことが好きだと思える子ども』『失敗しても自分で考えることのできる「生きる力」を持った子ども』を目指し、指導員が子どもたちの心に寄り添う保育を行っています。日常の保育の中にコマ・けん玉など昔ながらの遊びを取り入れ、コロナ禍の中でも行えるイベントを考え取り組んできました。

保育室は平和が丘コミセン南隣どんぐり広場内の専用室と東向かいのE z ヒルズの2部屋をお借りしています。入所希望に関しては772-4594（指導員：鈴木・今井）までお問合せください。



□防災お役立ち情報

○懐中電灯でルームライト

懐中電灯は、照らす範囲が狭いですが、工夫すれば、部屋の広範囲を照らすことができます。懐中電灯を幅広の水筒などの容器に入れ、その上に水を入れたペットボトルを置いて下から照らすと、ペットボトルの水で光が拡散されて部屋全体が明るくなります。

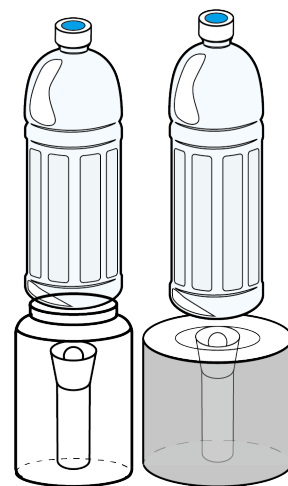
容器が大きい場合はハンカチなどの布やティッシュペーパーで懐中電灯を固定するといいですね。

水筒がない場合は、トイレットペーパーで代用もできます。

また、レジ袋の中に空気を入れて膨らませた形にして、持ち手部分を懐中電灯に縛り付けることでも、ランタン代わりにになります。

逆さまにして部屋に吊るすことも可能ですね。

ただし、昔ながらの豆電球(白熱球)を使用する懐中電灯は、長時間使用すると熱が発生し火事の原因にもなるので、LEDの懐中電灯を使うようにしましょう。また、懐中電灯には夜光テープなどを巻いておくと、停電時に探す目安になります。



○小さな電池を大きくする方法

停電時には、乾電池が品薄になりやすいです。単三電池から単一電池や、単四電池から単三電池は、布（段ボールでもOK）を必要なサイズの太さになるまで巻いてテープで止め、長さが足りない部分は一円玉や丸めたアルミホイルで調節すると使えますよ。

<編集後記> 今年も集中豪雨による被害が静岡県(7月)や九州地方(8月)で発生した他、地震もあちこちで発生しました。人の力で雨や台風・地震の発生を防ぐことはできませんが、人的被害は日頃の備えや訓練で最小限にとどめることは可能です。新年を迎える準備に災害対策も加えていただき、十分な備えで新年を迎えましょう。(編集 前島)



平和が丘だより

検索